

Newsletter: 日本音韻論学会 (PHSJ)

第 17 巻第 1 号 (通巻 48 号)

2013 年 4 月 27 日

『音韻研究』第 16 号発行

『音韻研究』16 号が発行されました。昨年度の会費を今年の 3 月末日までに納付された方には、この Newsletter とともに 1 部お送りしています。ご確認ください。

上田功前会長による巻頭言及び 2012 年度春期研究発表会と音韻論フォーラム 2012 における講演・研究発表の中から、査読を経た研究論文 9 篇、招待講演論文(学位取得者講演論文を含む)5 篇、合計 14 篇が収められております。また、2012 年 6 月 7 日に 68 歳で急逝された原口庄輔元会長への追悼文が掲載されております。追悼文は、窪菌晴夫元会長及び本会会員の田中伸一氏によるものです。

学会会長・副会長交代について

任期満了にともない、3 月末で上田功氏が学会会長を、田端敏幸氏が副会長を退任されました。4 年に渡り、学会運営の中心として多大なご尽力をいただきましたことに、会員一同、感謝いたします。

2013 年度から、新会長に田端敏幸氏(千葉大学)、新副会長に田中伸一氏(東京大学)が就任いたしました。2016 年度までの 4 年間、新体制へのご協力をお願いいたします。

新理事決定

2012 年秋に理事定員 14 名のうち、半数の 7 名の改選選挙が行われました。その結果、2013 年 4 月より以下の方々新しい理事に就任されました(50 音順、敬称略)。

太田聡(山口大学) 田中真一(神戸大学) 橋本文子(東京家政学院大学) 平山真奈美(立命館大学) ピンテール・ガーボル(神戸大学) 松井理直(大阪保健医療大学) 松浦年男(北星学園大学)

任期は 2017 年 3 月までの 4 年間です。よろしくお願いたします。

2013 年度春期研究発表会

2013 年度春期研究発表会(通算第 20 回大会)が、6 月 14 日(金)に、首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパスで開催されます(なお 6 月 15 日～16 日には日本言語学会が茨城大学(水戸市)で行われます)。

プログラムは以下の通りです。奮ってご参加下さい。発表会終了後、会員総会が行われますので、ご出席下さい。その後、懇親会が予定されております(会費、会場については、当日お知らせします)。

記

日時: 2013 年 6 月 14 日(金) 13:00 - 18:00

会場: 首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパス 秋葉原ダイビル 12 階 1202 号室(東京都千代田区外神田 1-18-13・JR 秋葉原駅「電気街口」徒歩 1 分) 地図は以下のサイトを参照 (<http://www.tmu.ac.jp/access.html>)。

参加費: 一般・維持会員: 1,000 円, 学生会員: 500 円, 非会員: 2,000 円

問合せ: 吉田優子(担当理事)

yuyoshid@mail.doshisha.ac.jp

または、学会事務局

プログラム

13:00 - 13:05 開会挨拶

セッション 1 一般発表

司会 本間 猛(首都大学東京)

13:05 - 13:45 栗栖 和孝(神戸女学院大学)

“Allophone Listing”

セッション 2 学位取得者講演

司会 ピンテール・ガーボル(神戸大学)

13:55 - 14:55 佐野 真一郎(国際基督教大学)

“The Roles of Internal and External Factors and the Mechanism of Analogical Leveling: Variationist- and Probabilistic OT Approach to Ongoing Language change in Japanese Voice System.” (上智大学 2009)

セッション 3 学位取得者講演

司会 松浦年男(北星学園大学)

15:05 - 16:05 高田 三枝子(愛知学院大学)

「日本語語頭閉鎖音の VOT の多様性と通時的変化」(東京外国語大学 2009)

セッション 4 ゲスト講演

司会 近藤真理子(早稲田大学)

16:15 - 17:25 Jacques Durand(トゥルーズ第二大学英語学科 名誉教授, Département Études du Monde Anglophone, Toulouse 2 Le Mirail)

“Doing Phonology with Large Corpora: the Case of French Liaison”

17:35 - 18:00 総会

18:15 - 20:15 懇親会

音韻論フォーラム 2013

音韻論フォーラム 2013 が以下の予定で開催されます。韓国を含む海外からの招待講演ならびに学位取得者講演と一般研究発表で構成されています。

日時: 8 月 21 日(水)～23 日(金)

会場: 札幌学院大学社会連携センター

プログラム等詳細は、次号でお知らせします。

フォーラム研究発表募集

音韻論フォーラム 2013 の研究発表を、下記の要領で募集いたします。発表希望の方は奮ってご応募ください。プログラム等の情報は7月下旬発行予定のNewsletterにてお送りいたします。

本フォーラムでの発表内容は、編集委員会の査読を経て『音韻研究』第17号(2014年3月刊行)に掲載されることとなります。学会誌への掲載という点からも、他学会との重複発表はくれぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は、発表1件につき、原則として8ページです。

<応募要領>

発表(論文)テーマ:音韻論・音声学に関するもの、あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの。

使用言語:日本語または英語。

発表形態:一般発表またはワークショップ

送付方法:いずれの発表形態の場合も、①要旨、②発表者情報を別のシートに記載し、下記の担当理事宛に送信して下さい。

I. 一般発表の場合

- ①「要旨」には、タイトルと発表要旨のみを記入する(氏名等は記載しない)。要旨は日本語の場合2000字以内、英語の場合800語以内とする。別紙に、参考文献一覧を1枚以内で示す。
- ②「発表者情報」には、氏名、所属、発表タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載。

II. ワークショップの場合

- ①「要旨」は、ワークショップ全体に関するものと、各発表者によるものを用意し代表者を取りまとめ、一括して送信する。各要旨には、タイトルと発表要旨のみ記入する(氏名等は記載しない)。各要旨は日本語の場合は2000字以内、英語の場合は800語以内とする。要旨各々につき、参考文献一覧を1枚以内で示す。
- ②「発表者情報」には、発表者全員の氏名、所属、タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載。代表者に印をつける。

メールでPDFファイルを送信(PDFファイルの作成が不可能な場合は、Wordファイルにて送信)。PDFファイルで投稿できない場合は、事前に担当理事にご連絡下さい。

書式:A4サイズに発表時の使用言語で記載。

締め切り:2013年6月30日(日)

送付先:白石英才(フォーラム2013担当理事)
hide@sgu.ac.jp(札幌学院大学)

書式を守っていない、あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効としますので、ご注意下さい。

7月中旬に、発表の可否を通知予定です。

旅費の補助について

学会では、若手研究者への支援を目的として、非有職者(学生や非常勤講師等)で、かつ、遠隔地からの発表者を対象に、旅費の補助を行います。

春期研究発表会、音韻論フォーラムいずれの時期も対象で、一人上限2万円です。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。該当される方は発表応募時にお知らせ下さい。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入できます。また、本学会前身の音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』についても、特別価格で購入できます。詳しくは、下記にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係

〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-2 水上ビル4F

TEL: 03-5842-8900 FAX: 03-5842-5560

E-mail: kawata@kaitakusha.co.jp

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

封筒の宛名下にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち2, 3は、それぞれ2012, 2013の各年度の会費が未納であることを意味します。*は、会費納入済みであることを意味します。また、tはthousandの意味で、[5t]とあれば、5,000円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*3[5t]」と印字されていれば、2013年度の会費が未納で、その総額が5,000円であることを意味します。

年度にかかわらず未納分の会費が納入され次第、当該年度の『音韻研究』を無料で送付しています。

封筒をご確認の上、未納の会費を以下の郵便振り込みで納入していただきますよう、お願いいたします。

郵便振込:

口座番号: 00180-6-402077

加入者名: 日本音韻論学会

年会費:

維持会員: 10,000円

一般会員: 5,000円

学生会員: 4,000円

「維持会員」は、本会を格別に支援して下さる会員です。年会費1万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

また、会員情報(住所、所属、連絡先)が変更になった場合は、必ず**事務局会計**にご連絡下さい(学生会員から一般会員へと身分変更となった場合も、必ずご連絡下さい)。連絡されないままにされますと、Newsletterや『音韻研究』等の配布物が正しく配送されませんので、ご注意願います。

事務局の異動

3月末をもって田中真一氏が事務局長を、山本武史氏が局長補佐・書記を、桑本裕二氏が会計を退任し、4月から新事務局長に本間猛氏(首都大学東京)が、新会計に西村康平氏(愛知淑徳大学)が就任いたしました。

日本音韻論学会事務局

【事務局長(学会所在地)】本間猛(首都大学東京)
〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1
首都大学東京 人文科学研究科(言語科学)
Tel: 042-677-1111(代表)
E-mail: honmat@st.rim.or.jp

【会計】西村康平(愛知淑徳大学)
〒464-8671 愛知県名古屋千種区桜が丘 23
愛知淑徳大学 外国語教育部門
E-mail: knishimu@asu.aasa.ac.jp
TEL 052-781-1151(代表)

2013 年度春期研究発表会会場

首都大学東京 秋葉原キャンパス
〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13
秋葉原ダイビル 12 階 Tel 03-5294-0250

『音韻研究』第 15 号(2012)の誤植と訂正について

『音韻研究』第 15 号で、以下の誤植が見つかりましたので報告し訂正します。ご確認のほど、お願いいたします。

96 ページ 6 行目:

<誤>

(11) 日本語の有声性対立の P-map (促音、単音それぞれについての有声音と無声音の距離)

dd ⇒ tt

d ⇒ t

<正>

(11) 日本語の有声性対立の P-map (促音、単音それぞれについての有声音と無声音の距離)

dd ⇒ tt

d ⇒ t

